

有効なBCPを策定するために ～欠かせない定期的な点検と見直し～

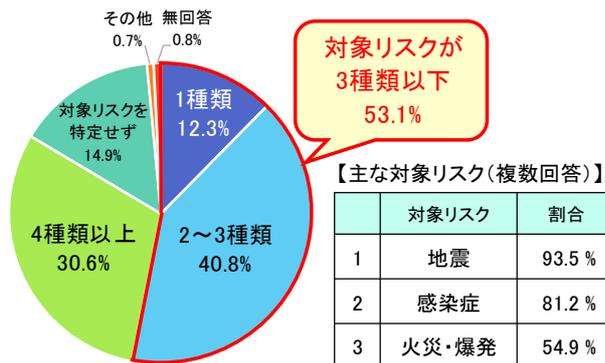
策定済のBCPは本当に備えとして充分か

事業を取り巻くリスク要因が多様化する昨今、企業が策定しているBCP(※)は自然災害や感染症を想定したものが多く、事業継続の備えとして不十分となっている恐れがあります。

BCPを策定済の企業を対象に2022年に内閣府が実施した調査によると、対象リスクの想定が「3種類以下」との回答が全体の5割超を占めています(図表1)。その主なものは、地震、感染症、火災・爆発ですが、想定外のリスクに対してBCPが機能せず、被害を防げなかったという事例も発生しています。

(※) BCP(Business Continuity Plan)：自社に影響を及ぼすリスク事象に備え、事業の継続に向けた方法や手順を事前に取り決めた計画

図表1 BCPで想定している対象リスクの種類



(注) 対象はBCP策定済の企業
(資料) 内閣府資料より当部作成

多様なリスクに対応可能なBCP策定を促す広島県

「平成30年7月豪雨」災害により県内企業の事業活動に多くの支障が発生した経験を踏まえ、広島県は2019年度以降、企業のBCP策定支援を積極的に行っています。この支援は国際標準規格である「ISO22301認証(※)」に準拠し、情報セキュリティ事故や原材料・エネルギー価格の高騰、電力の逼迫といった多様なリスクに対応したものであることから、BCPの高度化を図る上で大いに役立つものとみられます(図表2)。

BCPを有効に機能させるためには、こうした支援を活用することで自社の点検と見直しを繰り返し、事業継続能力を向上させていくことが鍵になると言えそうです。

(※) ISO22301認証…事業継続マネジメントシステムに関する国際規格。自然災害を始めとした様々な潜在的な脅威に備え対応するための包括的な枠組み。

図表2 BCP策定に向けた広島県の支援事業

広島県BCP策定等支援事業(いずれも参加費無料)			主な想定リスク (ISO22301認証に準拠)
実施内容	概要		
啓発	BCP啓発セミナー	BCPの基本的な知識・目的・意義等を啓発	
	BCP策定推進フォーラム	BCP策定企業をプレゼンターとしたパネルディスカッション	
策定	BCP策定講座	多様なリスクに対応するBCPを策定	
検証	BCP検証机上演習	シミュレーションで策定済BCPの有効性を確認・検証	
	策定済BCP診断講座	策定済BCPに必要な要素が網羅されているか診断	

(資料) 広島県資料より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：唐井 (TEL082-247-4958) までお願いします。